



- >>課題解決ワークショップご報告
- >>平成 28 年度市民協働推進モデル事業ご紹介 Vol.3
- >>今後のイベントのご紹介

市民と市役所が

ツナガル通信

発行日：平成 28 年 10 月 20 日
 発行元：ESD・市民協働推進センター
 岡山市役所本庁舎 2 階（月～金、9:00～17:00）
 TEL：086-803-1062/070-5055-7589



Vol.17

第 6 回持続可能な岡山市づくりのための課題解決ワークショップを開催しました！

6 回目を迎えた課題解決ワークショップ。今回は、65 名（NPO 等 27 名 / 行政 38 名）が参加し、5 つの団体から『地域猫活動』を広めていくには「子どもが育つ地域づくり」「たけべ（中山間地域）のいいところを子孫の代まで残そう」「離婚の時に子どもの養育に関する取り決めを促すには」「健康寿命の延伸について」それぞれ課題の紹介があったのち各テーマで議論をしました。

参加者からは「時間が足りなかった」「なかなかハードなワークだったが、それぞれの強みを聞くことが出来た」「実際に困っている方が参加されていて、行政として何がまだ足りないのかヒントをもらえた」「実現可能性が可視化出来た」等の意見があり、協働がうまれそうな予感がしています。

第 7 回目は、若者ワークショップ。若者にとって、より暮らしたい！働きたい！岡山市について考えます。11 月 18 日（金）18:00～、KAMP（岡山市北区奉還町 3-1-35）にて開催します。年齢は問いません。皆様の参加をお待ちしています。

詳しくは、HP「つながる協働ひろば」に近日中に情報をアップしますのでご確認ください。



市民協働フォーラムと地域協働フォーラムを開催します！

<p>市民協働フォーラム</p>	<p>日時：11月1日（火）13:30～16:00 場所：岡山市役所本庁舎 7 階会議室 タイトル：協働推進計画を考える！！ 内容：今年 4 月 1 日施行した「岡山市協働のまちづくり条例」。この条例には、多様な主体の協働で社会課題解決を進め、持続可能な地域社会を築いていくための具体的な施策が規定されており、この施策を着実に進めていくため、「協働推進計画」を策定することとしています。同計画の策定については、現在「岡山市協働推進委員会」（委員 16 人）で審議しているところです。幅広く市民の皆様にご意見をいただき、よりよい計画になるよう一緒に考えませんか？</p>
<p>地域協働フォーラム</p>	<p>日時：11月3日（木・祝）13:30～16:00 場所：岡山県生涯学習センター タイトル：持続可能な地域づくりについて考える 内容：課題を乗り越えるための組織再編、地域間連携、現状把握、住民の参加促進、若者の力について岡山県内の 5 つの事例を発表頂きます。独自の視点や工夫によって組織の課題を乗り越えようとしている挑戦事例を共有することで、それぞれの地域での活動やしきみづくりに生かしていくことを目指します。区づくり推進事業「地域活動部門」の募集説明もあります。</p>

平成28年度「市民協働推進モデル事業」のご紹介 Vol.2

岡山市各課と市民（NPO法人、市民活動団体等）が共通の目標達成に向けて、力を合わせて市内の課題解決に取り組む「市民協働推進モデル事業」の平成 28 年度採択事業の取り組みをご紹介します。

『学校現場を主とする性的マイノリティ支援啓発事業～教職員、児童、生徒から地域社会への啓発に向けて～』 プラウド岡山 × 教育委員会指導課・女性が輝くまちづくり推進課・人権推進課

LGBTの子どもたちが自己肯定感を育みながら自分らしく生きていくためには、LGBTに対する周囲の理解を深めることが第一歩であり、当事者でない子どもたちを含めて全ての児童・生徒が多様なセクシュアリティのあり方を知ることが必要であることが昨年度の調査事業を通じて明らかになった。現在の学校現場において、お互いを受容する雰囲気醸成するためには教職員の役割・対応が重要になるため、本事業では教職員用のLGBTへの理解と対応についてわかりやすくまとめたパンフレットを作成する。さらに、困難を抱えたLGBTの児童・生徒やその保護者を対象としたサロンを運営するほか、リーフレット、パネル展、アンケート報告会といった取り組みを通じて一般市民への普及・啓発に努めます。

協働のすすめ～岡山市職員インタビュー～ 教育委員会事務局指導課 河合 浩一さん

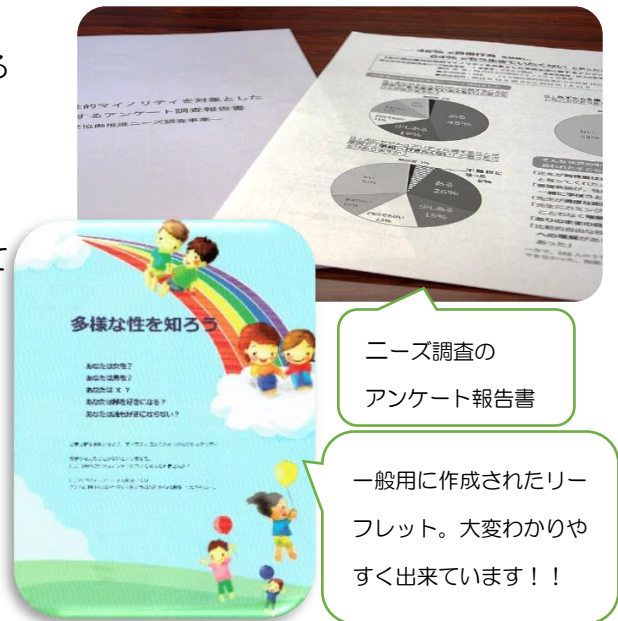


Q1：協働団体に求める役割や期待することはなんですか？

私たち学校関係者は、学校の児童生徒に対する指導に必要な知識やノウハウを持っていますが、すべての事柄に精通しているわけではありません。特に、性的マイノリティに関する知識は十分とは言えず、啓発活動の必要性を感じていました。

ですから、プラウド岡山さんが「当事者の気持ちを伝えたい」という思いでアンケートを実施し、学校向けに報告書を作成してくださったことで、教職員が正しく理解することに向けて、大きな一歩を踏み出すことができました。行政機関と協働団体、それぞれの専門性を生かして事業が展開できるところがよいと思っています。

※アンケート報告書は「プラウド岡山」のウェブサイトからダウンロード可能です。<http://www.proudokayama.com/>



Q2：協働を通じてどのような効果が生まれていますか？

アンケート報告書という成果物ができたおかげで、私たちは、性的マイノリティに対する理解を高めることを、学校に働きかけやすくなりました。報告書には統計結果だけでなく当事者の具体的な経験、言葉そのまま記載されているので、先生方の心に響いていると感じています。

Q3：よりよい協働の実践に向けて今後の展望を教えてください。

今年度事業で教職員向けの解説リーフレットを作成するため、次年度以降は教職員の研修を充実させていく予定です。また、児童生徒の成長に大きな影響を与える保護者が、正しく理解していることも大切なので、保護者向け研修の充実も考えています。さらに人権推進課や女性が輝くまちづくり推進課の協力を得て、一般の市民に向けた普及・啓発にも取り組んでいます。私たちにはない専門性を持ったプラウド岡山さんと今後も良きパートナーとして協力していけたらと思っています。